



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



**意識を喚起し
 進んで行動を**

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

職業奉仕米山月間

第664回 平成12年10月25日(水)

[本日のプログラム]

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

次回予告
 ★11月 1日(水)
 ロータリー財団
 プログラム
 11月セレモニー

★11月 8日(水)
 夜間例会
 会員卓話
 吉田康一郎君
 家庭集会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会長	梶田與之助
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	吉田康一郎
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷阿3887-17	幹事	宮原 建樹
	☎880-0212	会計	後藤 明夫
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報発行人	池田 仁志

勝堂

第663回例会記録 (2000.10.18)

☆会長の時間

副会長 吉田 康一郎 君

皆様、今日は。

本日は第663回の例会です。

梶田会長が、所用で休まれましたので、本日は副会長の私が、会長の時間をつとめさせていただきます。

まず、ビジターの紹介を致します。西都RCの大谷博君です。ようこそお出でいただき、有り難う御座います。

今日のプログラムはクラブ創立記念プログラムの予定でしたが、会長の欠席で急遽、米山記念奨学会になっております。でも、私は創立記念プログラムの会長の時間の原稿を用意して来ておりますので、申し訳ありませんが、これを読まして頂きます。

私が佐土原ロータリークラブに入会したのは、平成7年4月でしたので、丁度5年6ヵ月になります。その間、皆様と色々な交流を持つことが出来、長くて短い5年6ヵ月だったような気がします。

今から、13年前、チャーターメンバー15名で当クラブが創立された訳ですが、今思いますと当時のメンバーの方々の苦勞は如何ばかりだったろうと思われれます。現在の会員数が28名ですから、約2倍になったのですが、1時期35名になったこともあり、このまま行くと、40名のクラブになるのは間もなく...と思ったこともありましたが、思うようにはいかないものです。

しかし、どこの地区のロータリークラブも会員増強には、非常に力を入れているようですが増強は未だ、なかなかの様です。

我々を取り巻く情勢は現在も、これからも、厳しいものがあります。

でも、我が佐土原ロータリークラブの新入会員の方々！そして、先輩会員の皆様！友人、知人にもう1度、ロータリーの良い所、楽しい所をアピールして頂き、なんとか35名~40名のクラブにしようではありませんか。頑張りましょう！！

甚だ簡単ですが、私の創立記念プログラムに寄せる言葉とします。

★ 李 君奨学生推薦の件について

本日、米山奨学生希望の、李 君を例会にお招きしております。

岩切米山奨学委員会、委員長にお伺いしましたところ、奨学生の申し込み方法が以前と少し異なり、先ず、大学の事務局に本人が申請、その後、米山奨学会事務局へ回り、検討される様です。合、否の返事は当クラブにくるそうですので、これからは、李君には出来るだけ例会に出席していただき、皆様と触れ合いをして貰い、是非、良い結果が得られるよう願っております。



☆幹事報告

幹事 宮原 建樹 君

例会変更通知はありません。

10月20日(金)会長・幹事会が宮崎市の『花月亭』にて18:30より開催されます。会長と幹事の私が出席致します。報告事項等は、また、後日致します。

それから、先週の例会で地区大会宿泊ホテルの件で申し上げました、ホテル名が違っておりましたので、訂正しておきます。

鹿児島ワシントン行改め、プラザホテル天文館、です。宴会等、色々皆さんにお願いして計画しております。

親睦を深める機会になれば…と思っております。

☆出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	28名
例 会 出 席 者	21名
出 席 率	75%
メークアップ者数	2名
修 正 出 席 率	82%
欠 席 者 名	嗣 結 林 畑

☆親睦委員会

委員長 徳丸 彰一 君

1. 歯車会ゴルフ開催の件

下記の通り、当クラブの担当で歯車会ゴルフコンペを開催致します。

記

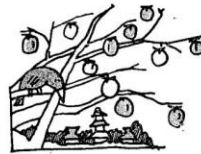
- 日時 11月17日(金)
集合時間 8:00
スタート 8:30
- 場所 座論梅ゴルフクラブ
(新潟TEL0983-35-1311)
- プレー代 ¥6,975 (飲み料別)

スポーツの秋、いいゴルフ日和となって来ました。

奮ってのご参加、お待ち申し上げます。

2. 親月会、会計報告の件

収支会計報告を回覧致します。
ご高覧、よろしく願います。



太田2丁目4-10 INAX

52-1377 10927 25.262)

☆米山奨学委員会

委員長 岩切正司君

ロータリー財団には、ロータリー財団と米山奨学会の二つがあります。

ロータリー財団は日本から海外に学生を学資援助して派遣するもの、又、米山奨学会は日本に海外からきた学生に学資を援助するものです。

米山奨学会は、基金100億、年間1000人の学生に20億の奨学金を援助しております。

大体、アジア圏の学生がヨーロッパ圏より、多いようです。

そして、大学院生が多くなっています。

申し込みの方法が近年変わり、大学に本人が申し込み、その後、米山奨学会に回り、検討される、ということになります。

幸い、合格ということになると、その奨学生は推薦してもらったクラブの例会にしょっちゅう来ていただいて、自分の国の習慣とか、歴史とか、お話しして頂き、又ロータリーの種々の行事に参加して皆さんと親しく触れ合って貰う…ということになります。

奨学金の支給は当該クラブから、本人に直接手渡しします。

この低金利時代になり、年間20億の支出は昨年、元金を食い潰してしまった様です。

我々ロータリアンが少しでも財団に寄付していただきまして、運営を円滑、且つ未来につなげていきたいものです。

当クラブは1万円ずつお願いしております。

戦前は日本にアジアから、沢山勉強に来ておりました。また、30年~40年代に

なると日本からアメリカ・ヨーロッパ方面に留学しております。

平成になり、こうして、中国の李君達が勉強に来ておりますが、あと、10~20年後は中国は世界の大国になり得るのではないのでしょうか。私たちは今こうして日本の米山奨学金を得たいと来ている、アジアの方々と縁ができるということは、非常に喜ばしいことだと思えます。

今の日本は世界中の勉強をしたい人達に奨学金をあげられる国だということ喜びとして、なにとぞ財団にご寄付をお願いします。

仏教の言葉にお布施というのがあります。お布施の行…お金を出して徳を積むということです。お金を出した人に徳がつく…お金を出したのに何故徳をするのか、となかなかむずかしいことかもしれませんが、徳がつくということを味わえる人間に育つという所に奉仕の理想の神髄があるのではないのでしょうか。

0120 1794

